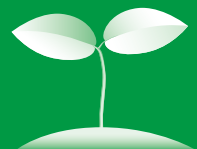


育てよう 鏡野のよい子シリーズ



「支えあう生き方を学ぶ」

私が担任をしていた頃、生徒に「身につけさせたい」、自分自身も「身につけたい」と考えている五つの力がありました。教科指導と学級経営や部活動、学校行事の時に、必ず意識して取り組んでいました。生徒たちや私にとって「ゴール」目指す姿を達成させるためのエネルギーやエンジンとして大切にしてきました。

- その五つの力とは、
- ①課題の解決に向けた意見交換ができる力
 - ②私（アイ）メッセージで気持ちを伝える力
 - ③尊敬の気持ちをもって相手の話を聞く力
 - ④お互いに助け合うことができる力
 - ⑤私（自分）たちで決める力

ここでは、④の力を育む「ピア・サポート」をご紹介しますと思います。これから先も、私が大切にしていきたい視点です。

「ピア・サポート」とは、「仲間（ピア）」として支えあう活動（ピアサポート）」です。

以前勤務した中学校では、不登校対策の取り組みの一つとして、「ピア・サポート」活動に取り組んでいました。ペア、班、学級、学年を主体とし、生徒会や専門委員会の活動、学校行事などで、まるで縦横の糸で一枚の布を織り上げるように学年を超えた縦のつながりや、学級内では横のつながりをつくることを目

指して、集団づくりに積極的に取り組んでいました。ふんわりとしたさりげないサポートから全力のサポートまで、形態や内容は様々なものがありました。日本ピアサポート学会ホームページ <http://www.peer-support.jp/idea/prohtml> をご覧下さい。

「誰もが成長する力をもっている」
「誰もが自分で解決する力をもっている」

「人は、実際に人を支援する中で成長する」

「誰もが他者をサポートできる存在であり、サポートを受ける存在である」と考え方が示されています。

私は、相手も自分も大切に尊重し「支えあう生き方を学ぶ活動」が「ピア・サポート」だと実感しています。「できないこと」のほうが多いと感じ、集団に所属していることが苦しくなっている生徒にとって「今のまま、そのままでもいい。」自分を受け入れてもらえる学級集団の風土の中で、友達の力を借りて話し合ったり、行動したりすることによって、生徒は勇気づけられていくのだと考えています。

仲間を思いやり、支えあう活動を通して、「支えあう生き方を行動で示せる」生徒に成長し、これからもずっと笑顔あふれる「一人ひとりが輝く、鏡野中学校」であってほしいと願っています。

鏡野町生徒指導推進連絡協議会
鏡野中学校 小林 里江

のびのびひろば

かっこよく
手を伸ばすぞ!!



5歳児 バルーン
みんなで力を合わせて、
大成功!!

ありがとう♡



4歳児 競技『うさぎヤマトの宅急便』
大忙しの宅急便屋さんになって、
大きな荷物をお届けしま〜す!!



まさお君のお家へ
宅急便で〜す!!



3歳児 踊り♪『えがおのまほう』
可愛いはなかつぱたちの踊りで、
みんなに笑顔を届けます。

お兄ちゃん
がんばれ〜♡



いろいろな年齢の子が玉入れ
優しいお姉ちゃんが抱っこして
入れやすくしてくれています。

(鶴喜保育園)